

松尾

財政危機の原因と改善策は

有効かつ効果的な施策を

市長



松尾 武治 議員

問 市長の言葉では「本市の基礎固めができた。また、本市の財政は厳しいにも関わらず、21年度は、基金(貯金)の取崩しをしなかつた」とのことであるが、これは国の経済対策恩恵であって、経済対策が切れると厳しい状況はさらに

深刻になると考えるが、財政危機に陥らせた原因と改善策は。

市長 限られた財源の中で、有効かつ効果的な施策をしていく。多額の借金を将来に渡っての厳しい財政見直しの中、事業の見直しをする。

問 本市の人員費・物件費の削減率は、他の市町村と比較すると非常に低い。改めて、財政危機の原因と改善策を具体的に。

市長 現在、総合振興計画の中で、23年度から25年度の実施計画を見直し、中期の財政計画を策定する。

問 市長答弁で、具体的な改善計画が示されると期待していたが示されなかつた。財政的な質問を市長に求めたのが無理だったと理解する。

財政の責任者である総務部長の具体策は。

総務部長 税収の伸びは期待できない。公債費の繰り上げ償還等を3年間実施した。義務的経費のうち、人員費の削減は、定員削減計画、賃金カット等、既に取組んでいる。



本市の主な計画書

議員提出議案

議会活性化対策特別委員会設置

全員賛成で可決

提案理由(要旨)

地方分権化時代の到来で、議会の審議、監視機能の役割は一層重要性を帯

び、議員の政策形成機能の充実が求められ、議会の活性化・議員の資質の向上は大命題である。

本市においても合併直後の平成18年12月定例会で議会活性化対策特別委員会が設置され、議員定数の問題・議会運営の問題等に大きな成果を上げその任を終えたところである。

議会のあり方の再構築や一層の市民の負託にこたえるべく、議会の改革ならびに活性化に関する調査を図

賛成討論(要旨)

山下 澄雄 議員

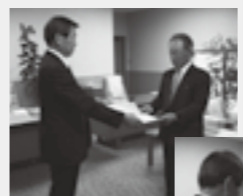
全国的に地方議会のあり方が問われているとき、この委員会を必要とされる議員全員がいまの議会では良くないと認めているゆえのことと思う。

議会不要論まで出ているときにこの委員会を設置するのは意義あること。た

だ委員構成について、全議員が参画すべきと思う。委員の選定に協議がないままに進められたことには不満を表す。

真に市民のための結果が出ることを要望し、賛成討論とする。

- 委員長 橋本 尊文
- 副委員長 矢野 康弘
- 委員 林 茂
- 森 為次
- 村田 正夫
- 高野 美好
- 小中 昭



吉田繁治さん



八木 眞さん

全国市議会議長会表彰を受賞

去る5月26日、第86回全国市議会議長会定期総会において、前南丹市議会議員の吉田繁治さんと八木眞さんが受賞されました。

人事案件

副市長 松田 清孝 (園部町半田)

6月末をもって退任される岸上吉治副市長の後任として、全員賛成で同意した。

常任委員会

活動報告

▼厚生常任委員会

4月27日、28日、30日

管内の現地調査を行いました。主な施設を選定し、三日間にかけて運営状況及び施設の現状について調査を実施しました。一日目は八木9施設と園部9施設。二日目は美山11施設と日吉8施設。最終日は船井郡衛生管理組合、カンポリサイクルプラザ(株)、公立南丹病院の運営状況及び施設の現状について調査しました。今後、各施設の老朽化による修繕費や管理費の削減等が課題となってきました。

6月16日

付託された報告2件と議案4件の計6件について審査を行いました。

主な質疑として、平成22年度南丹市一般会計補正



城南保育所の視察

予算(第1号)では、男女共同参画推進事業の相談業務委託料の内容や保育所管理運営費の財源の変更などについての意見がありました。

平成22年度南丹市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)は、市のレセプト点検の課題や本年度の国保税の賦課状況などについての意見がありました。

付託された報告2件は全員賛成で承認し、議案4件についても全員賛成で可決しました。

▼産業建設常任委員会

4月22日

管内の現地調査を行いました。今回は八木・園部を中心に実施し、八木では、国道477号(西田大藪道路)、府道郷ノ口室河原線、市道野条諸畑線、農業用道路園部八木線、八木バイオエコロジーセンター、ほ場整備事業(池ノ内)、板野川改修事業(調整池)。園部では栄町老朽管更新事業、本町土地区画整理事業、新光悦村、都市公園事業、園部農業公社の現状と運営状況などを調査しました。

5月19日

本委員会の所管する農林商工部、土木建築部、上下水道部の事務事業調査を実施。部課長から詳細説明を受け、現状と課題について調査しました。

6月15日

付託された報告3件、議案6件について審査を行いました。報告3件は全員賛成で承認。議案6件も全員賛成で可決しました。付託



農業用道路園部八木線(神吉~水所)の視察

議案審査の後、特に大きな課題である「桂川中流域下水道」の移管について現状の報告を受けました。

下水道法の規定により、平成28年3月31日に移管されることになっており、移管に伴い本市に施設管理、財政面など大きな負担が生じることとなります。合併に伴い同様の課題を抱える市は全国で12市あります。

課題解決に向け、今後は府や全国の関係市との連携による検討が必要です。また、行政をはじめ市長会や知事会などにも働きかけなければならぬと考えます。

▼総務常任委員会

4月20日

所管事務事業調査として総務部、出納課、監査委員事務局、総合政策室、企画管理部、教育委員会の現状と課題について調査を実施しました。

4月21日、26日

管内調査として、市内全域の防災行政無線施設、公民館、学校施設、図書館、文化博物館、地域情報通信ネットワーク施設、市営バス施設、給食施設などの現状と運営状況についての調査を実施しました。

6月14日、24日

付託された報告4件と議案12件について審査を行いました。特に平成21年度南丹市一般会計補正予算(第8号)の専決処分の承認に関し、土地改良区総代選挙を市が委託を受ける根拠についての指摘をし、総務部長から「法律に基づき委託を受け実施しているが、今後十分な精査を行う」との答弁を得て可決。また、平成22年度南丹



JR 八木駅舎の視察

市一般会計補正予算(第1号)の消防費の備蓄食について、合併以降の取り組みの実態や現状を質疑し、備蓄食の本庁並びに各支所の保管状況の説明を受けました。

市街地や非農家が密集している園部・八木町域での長期避難者が1万4000人の想定のもと、1万5000食を基準とし、本庁と各支所で保管し、併せて今後のスーパードコンビニなどの調達も考慮中との答弁を得て可決しました。

付託された報告3件は全員賛成で承認、他1件は賛成多数で承認し、議案12件は、全員賛成で可決しました。